

◎佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現に向けて

(1) 理念条例3案について

- ① 毎年3月10日を心の佐渡市民の日（仮称）とする条例制定について
- ② 地酒で佐渡に乾杯条例（仮称）の制定について
- ③ 心の佐渡市民おもてなし条例（仮称）の制定について

(2) 三浦市長の政治姿勢について

- ① 三浦カラーは何色なのか
- ② シンプルかつ明確なビジョン＝世界観の共有の重要性
- ③ 三浦市長の政治スタンスは、理想の現実化なのか、現実の理想化なのか

(3) 北緯38度線の可能性について

- ① 世界の文明が生まれた奇跡の緯度
- ② 植生の南限・北限である奇跡の緯度
- ③ 道路を活用した観光×アートとしての表現の可能性

(4) 佐渡市議会・執行部のタブレット導入について

- ① 佐渡市職員の業務負担軽減
- ② 迅速な情報共有
- ③ ペーパーレス化の推進

(5) 「心の佐渡市民」全員で協働する佐渡アイランド集落ツーリズムについて

- ① 佐渡市民全員佐渡アイランド集落ツーリズム大使化構想
- ② 佐渡市職員全員スーパー公務員化構想
- ③ 佐渡市長経験者全員終身名誉佐渡市長化構想

(6) 佐渡島内の交通手段について

- ① 国仲平野と山手線のスケールについて
- ② 乗り合いシステムの導入について

■■■演壇にて■■■

皆さん、こんにちは。三度のメシより佐渡が好き！！政風会の室岡啓史でございます。『なんでも提案団』として通告に従い一般質問をいたします。

なお、配布資料のPDFデータは、『室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会』オフィシャルサイトにアップしておりますので、テレビをご覧の方は『室岡ひろし』で検索していただき、是非ともご確認ください。

佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とながっていく世界観、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現にむけて6点について質問します。

▼(1) 理念条例3案について

① 毎年3月10日を心の佐渡市民の日（仮称）とする条例制定について

過去二回の一般質問でも取り上げさせていただきました。世界遺産登録に向けた盛り上がり醸成の戦略の一つとして、佐渡市民や観光のお客様による佐渡金銀山の魅力の再発見、知識の共有、郷土愛醸成の日の一日として、『お客様感謝デー』を決行すべきではないかと考えます。

その日だけは、温泉施設や郷土文化施設、金山観光関連施設、市営スキー場等を佐渡市民の方や佐渡に観光にいらっしゃるお客様に対して無料開放し、地元のガイドの方による集落や文化の魅力の説明を受けて佐渡の奥深さを体感したり、温泉に入り心も体も温まる一日とする。そういった取り組みにより佐渡のファンを増やしていくという考え方です。

② 地酒で佐渡に乾杯条例（仮称）の制定について

県内では、長岡市や上越市で施行されている乾杯条例。佐渡市においては日本酒のみならず、どぶろくやワイン等、地産のアルコールで乾杯することで、佐渡の美味しいお酒を皆さんで楽しもうという主旨です。平成21年10月1日施行の佐渡市地産地消推進条例は、地元でとれたものを地元で消費するという、かつては当たり前であった食文化を取り戻そうとする主旨です。また、佐渡市が消費者協会と連携して進めている食品ロスを減らす取り組み、佐渡版3010運動についての文言も乾杯条例に組み込むことで、宴会等においても酒・食の地産地消を推進、食べ残しを削減しようという考え方です。

③ 心の佐渡市民おもてなし条例（仮称）の制定について

観光戦略官が、おもてなし条例の素案をつくられました。これは一年365日が心の佐渡市民による心の佐渡市民のためのおもてなしの日であるというように私は解釈します。ついては、心の佐渡市民の日（仮称）とする条例および地酒で佐渡に乾杯条例（仮称）が制定された、その先におもてなし条例をつくるべきであると考えます。

以上、理念条例3案について佐渡市の見解をお聞かせください。

▼(2) 三浦市長の政治姿勢について

① 三浦カラーは何色なのか

② シンプルかつ明確なビジョン＝世界観の共有の重要性

③ 三浦市長の政治スタンスは、理想の現実化なのか、現実の理想化なのか

市民の方とお話をする中で、三浦カラーが分からないというお声を耳にすることが少なくありません。首長たるもの、シンプルかつ明確なビジョンを常に言葉で発信し、市民全員と世界観を共有するという、とてつもなく大変かつ重要な仕事をする必要があると考えます。三浦市政のビジョンは一言でどういうことなのか、そしてそのビジョンは色に例えると何色なのか。また政治スタンスは、理想を思い描き、理想を現実化していくものなのか、あるいは、現実の諸問題を粛々と解決に向かわせる、現実の理想化なのか。三浦市長のお考えをお聞かせください。

▼ (3) 北緯 38 度線の可能性について

- ① 世界の文明が生まれた奇跡の緯度
- ② 植生の南限・北限である奇跡の緯度
- ③ 道路を活用した観光×アートとしての表現の可能性

佐渡の国仲平野の真ん中を北緯 38 度線が通過しています。この北緯 38 度線は、韓国・北朝鮮の国境線として余りにも有名ですが、実は世界の文明が生まれた奇跡の緯度であると言えます。西洋文明発祥の地であるギリシャの首都アテネ、メソポタミア文明、黄河文明も通過。また、地中海イタリアのシチリア島、アメリカのサンフランシスコなども通過しております。

そして植物学的には、植生の北限・南限である奇跡の緯度とも言えます。佐渡はリンゴとミカンの採れる寒暖両系の島。まさに奇跡の島です。

北緯 38 度線は、島内約 12 カ所の道路を横切ります。そこで、それらの道路を活用した観光×アートとしての表現の可能性について提案いたします。道路に北緯 38 度線を表す緑の線を引き、両端の歩道には北緯 38 度線を示す標示板を立てるというものです。観光のお客様がこの線を横切った時に、北緯 38 度線についての気づきを得られるように、アートとして表現するというものです。

実現可能性について、佐渡市の見解をお聞かせください。

▼ (4) 佐渡市議会・執行部のタブレット導入について

- ① 佐渡市職員の業務負担軽減
- ② 迅速な情報共有
- ③ ペーパーレス化の推進

去る 2 月 13 日（月）東京恵比寿にて『タブレットから始まる ICT 化と「開かれた議会』』というセミナーを受講して参りました。タブレット導入の先進自治体として、神奈川県逗子市議会の議長および議員からご説明をいただき、導入の利点について学んで参りました。議員全員への迅速な情報共有、ペーパーレス化の推進による印刷コスト削減といった利点のみならず、印刷準備や煩雑な作業負担の軽減によって市職員の労務費削減が実現しているということが最大のポイントであることをお教えいただきました。また災害等有事の際においても迅速な情報共有が可能となります。

タブレット導入による議会運営および執行部と議会との情報共有の利便性向上について、どのように考えるか、佐渡市の見解をお聞かせください。

▼ (5) 「心の佐渡市民」全員で協働する佐渡アイランド集落ツーリズムについて

政府として『一億総活躍社会』というビジョンが掲げられ、協力して働く『協働』という考え方も世の中に浸透しつつあるところです。佐渡市においても三度のメシより佐渡が好きな「心の佐渡市民」の協働により佐渡の魅力が島内外へと波及し、ひいては佐渡のブランド化につながる取り組みをするべきであると考えます。そこで、三点の提案をいたします。

① 佐渡市民全員佐渡アイランド集落ツーリズム大使化構想

これは文字通り、佐渡市民の皆さま全員を集落ツーリズム大使に任命し、SNS やメール、ハガキ等によって佐渡の集落の魅力を島外の方へお伝えいただき、ひいては佐渡にお越しいただき、佐渡のファンになっていただくという構想です。

② 佐渡市職員全員スーパー公務員化構想

約 1,200 名を数える佐渡市職員は、地域活性化にとって大変重要な存在であると考えます。よって、スーパー公務員として燦然と輝く存在であり続けていただきたいと心より思います。私は、『6 日目の活動』を行う佐渡市職員をスーパー公務員と定義づけます。1 週間の内、5 日間は業務にあたる。1 日は、佐渡や集落のために使う。1 日は、本人と家族のために使う。佐渡や集落のために使う 1 日を『6 日目の活動』と位置づけ、集落の祭りや消防団活動、島内のイベント参加、セミナー聴講などによって、地域への貢献および自己研鑽に励む 1 日とする。残業や休日出勤が当たり前になっている職員の方も少なくないと耳にすることもありますが、佐渡版働き方改革の一手段として『6 日目の活動』を市職員の皆さんに奨励してみるというのはいかがでしょうか。なお、既に『6 日目の活動』を実践されている職員の方は少なくないと思いますが、目標は全員実践へと近づけるといえるものです。

③ 佐渡市長経験者全員終身名誉佐渡市長化構想

首長経験者の方は、豊富な行政経験を持ち、官民間問わず素晴らしい人脈をお持ちであります。そこで、佐渡市長経験者の方に任命書と名刺とを佐渡市が発行し、終身名誉佐渡市長として名刺をお配りいただくことで、佐渡アイランド集落ツーリズム等について佐渡市と協働いただけそうな人材を佐渡市に対してご紹介いただくというものです。

以上、3つの構想について佐渡市の見解をお聞かせください。

▼ (6) 佐渡島内の交通手段について

① 国仲平野と山手線のスケールについて

佐渡市の国仲平野の国道 350 号線および南線の環状道路は、例えるのであれば山手線のスケール・形状とよく似ています。山手線の 1 周は約 34.5km、1 時間で 1 周。国道 350 号線および南線の環状道路も 1 周で約 1 時間です。山手線内の面積は約 63km²。その中に約 88 万人（2005 年）もの人が住んでいます。山手線内の人口を佐渡全島約 57,000 人の人口と比較しても、およそ 15.4 倍もの人口となります。

② 乗合いシステムの導入について

人口が密集している東京 23 区とは異なり、隅々まで公共交通網を張り巡らせるということが難しい状況の佐渡市において、高齢者等の交通弱者、買い物難民の皆さまのための乗合いシステムの導入についてはどのような状況でしょうか。また、佐渡市として考える交通サービスとして抜本的な策はありますでしょうか。

佐渡市の見解をお聞かせください。

以上で、一回目の質問を終了します。